



マイコプラズマ肺炎が少しずつ流行しています。

現在、都内においてマイコプラズマ肺炎の報告数が増加しています。谷端小学校でもマイコプラズマ肺炎になる人が増えてきました。

どんな感染症？

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという細菌の感染による急性器感染症です。感染すると咳が出るほか、発熱や倦怠感、のどの痛み、頭痛などがあります。初期症状は風邪に似ています。マイコプラズマ肺炎の咳は熱が下がった後でも2～4週間ほど続きます。症状がでているときは、早めに医療機関に受診しましょう。

どうやってうつるの？

ウイルスが含まれた咳やくしゃみのしぶきを吸い込んだり、しぶきに触れた手で鼻や口に触れることで感染します。

どうやって予防するの？



感染予防には、石鹸でのこまめな手洗い、換気、マスクが有効です。

<p>① 手のひらで石けんを泡立てます。</p>	<p>② 手のこもも、こすって洗います。</p>	<p>③ 指を一本ずついてねいに洗います。</p>	<p>④ 両手をもむようにして指の間を洗います。</p>
<p>⑤ 爪を手にくすりつけるように洗います。</p>	<p>⑥ 手首を片方ずつ洗います。</p>	<p>⑦ 石けんが残らないように、しっかり洗い流しましょう。</p>	<p>⑧ 清潔なタオルやハンカチで水分をしっかりふき取ります。</p>

出席停止期間

発熱や激しい咳も治まり、全身症状が良くなれば、登校可能です。登校については、**かかりつけ医に相談してください。**